

(6) 日本語・日本文化学類

専門基礎科目(必修)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
AE51A21	日本語・日本文化研究法	1	1.0	1・2	秋AB	火3		杉本 武, 谷口 孝介	文献探索、レポート作成の方法を含め、日本語、日本文化をどのように学び、研究するかについて考える。	日本語・日本文化学類正規生(2019年度以降の入学)に限る。CDP、その他の実施形態 オンライン(同時双方向型)・オンライン(オンデマンド型)併用。
AE51K11	Japan-Expert総論	1	1.0	1	春C	金5,6		入山 美保, 谷口 孝介, 澤田 浩子, 中村 顕, 内海 真生, Togoobaatar Ganchimeg, 竹能力 ツマタ 麻子, 大原 央聡, 水野 裕史	筑波大学のエキスパートから、日本が世界に誇る専門分野の概要を学ぶことで、グローバル人材となるための知識と見識を深める。	実務経験教員、その他の実施形態 対面、オンライン(オンデマンド型)・同時双方向型)併用。Japan-Expert(学士)プログラム生に限る。

専門基礎科目(概論)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
AE53B11	現代日本語概論I	1	1.0	1・2	春AB	金4		沼田 善子	現代日本語の音韻、語彙、文法について、他言語との異同、日本語教育との関わりを視野に入れて講義する。	日本語・日本文化学類生は2019年度以降の入学に限る。 オンライン(同時双方向型) 試験は状況が許せば対面での実施に変更予定。
AE53B21	現代日本語概論II	1	1.0	1・2	秋AB	金4		沼田 善子	現代日本語の文法、文字・表記、言語行動及び世界の言語の中での位置について、他言語との異同、日本語教育との関わりを視野に入れて講義する。	日本語・日本文化学類生は2019年度以降の入学に限る。 オンライン(同時双方向型) 試験は状況が許せば対面での実施に変更予定。
AE53B31	言語学概論	1	1.0	1・2	秋AB	木4		澤田 浩子, 石田 尊, 今田 水穂	人間言語の特徴とはどのようなものなのかという問題を念頭に置きながら、科学的言語研究のための歴史的背景、方法論、具体的分析方法などについて学ぶ。	日本語・日本文化学類生は2019年度以降の入学に限る。★人文・文化学群コアカリキュラム 人文学類生、比較文化学類生に限る。ただし、AE52A21の単位取得者は履修できない。 オンライン(オンデマンド型)
AE53B41	日本語教育概論	1	1.0	1・2	春AB	木4	2B411	入山 美保, 神吉 宇一	日本語教育史や国内外の日本語学習者の現状、日本語教師の役割等を学び、日本語教育の方法や意義について考える。	日本語・日本文化学類生は2019年度以降の入学に限る。 その他の実施形態 対面、オンライン(オンデマンド型、同時双方向型)
AE53B51	日本の文学概論	1	1.0	1・2	春AB	火3		江口 真規	日本の文学が海外の文学との関わりの中でどのように形成され評価されてきたのか、主に英語圏を中心とする日本文学の翻訳・受容との比較を通して学ぶ。	日本語・日本文化学類生は2019年度以降の入学に限る。★人文・文化学群コアカリキュラム 人文学類生、比較文化学類生に限る。ただし、AE53A21の単位取得者は履修できない。 オンライン(オンデマンド型)
AE53B61	現代日本社会概論	1	1.0	1・2	春AB	火6		鈴木 伸隆	This class is to introduce students to the contemporary Japanese society in an anthropological perspective. It will examine topics and issues such as family, community, class and status, work and labor, and mass culture.	日本語・日本文化学類生は2019年度以降の入学に限る。This class is taught in English. 英語で授業。 JTP、オンライン(オンデマンド型)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
AE53A11	日本の歴史概論		1	1.5	1	春ABC		朴 宣美	日本の近現代史を中心に、様々な資料を扱いながら、多様な立場の人々の考えや経験を歴史的に考察するトレーニングを行い、歴史学・歴史研究への理解を深める。	日本語・日本文学類正規生(2018年度以前の入学者)に限る。履修にあたっては担当教員との相談を要する。

専門基礎科目(専門英語)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
AE54B11	専門英語A-I		1	1.0	2	春AB		山本 祐規子	人、モノ、情報が国境を越えて絶えず飛び交う社会において、英語でのコミュニケーションは、グローバル社会で活躍する人材の前提条件になっているといっても過言ではない。本講義は、英語の基礎的な知識を応用し、実践的なコミュニケーションスキルを向上させることを目的としている。さまざまな英語媒体の教材を通じ、その概要をとらえ、理解し、自分なりの考えを英語で表現する演習を継続的に行うことによって、実践的な英語力の向上を目指す。	日本語・日本文学類正規生(2019年度以降の入学者)に限る。1クラス対象。英語で授業。オンライン(同時双方向型)
AE54B21	専門英語A-II		1	1.0	2	春AB		山本 祐規子	人、モノ、情報が国境を越えて絶えず飛び交う社会において、英語でコミュニケーションは、グローバル社会で活躍する人材の前提条件になっているといっても過言ではない。本講義は、英語の基礎的な知識を応用し、実践的なコミュニケーションスキルを向上させることを目的としている。さまざまな英語媒体の教材を通じ、その概要をとらえ、理解し、自分なりの考えを英語で表現する演習を行うことにより、実践的な英語力の向上を目指す。	日本語・日本文学類正規生(2019年度以降の入学者)に限る。2クラス対象。英語で授業。オンライン(同時双方向型)
AE54B31	専門英語B-I		1	1.0	2	秋AB		安永 麻里絵	英語音声についてのテキストの講読と実際の発音資料を通してその特徴を把握し、発音および聴解の実用能力の向上を図る。さらに、日本語の音声との比較を行い、日本語教育への応用も併せて考える。	日本語・日本文学類正規生(2019年度以降の入学者)に限る。1クラス対象。オンライン(同時双方向型)
AE54B41	専門英語B-II		1	1.0	2	秋AB		安永 麻里絵	英語音声についてのテキストの講読と実際の発音資料を通してその特徴を把握し、発音および聴解の実用能力の向上を図る。さらに、日本語の音声との比較を行い、日本語教育への応用も併せて考える。	日本語・日本文学類正規生(2019年度以降の入学者)に限る。2クラス対象。オンライン(同時双方向型)
AE54B51	専門英語C-I		1	1.0	3	春AB		渡部 宏樹	日本語・日本文学類での専門教育に必要な高度な英語力を身につけるため、さまざまなトピックの英語をさまざまな形式(論文、ニュース記事、視聴覚資料、ゲーム)で多読する。なお本学の規定でTOEIC® IPテストを受検することが単位認定の要件となる。	日本語・日本文学類正規生(2019年度以降の入学者)に限る。1クラス対象。オンライン(オンデマンド型)
AE54B61	専門英語C-II		1	1.0	3	春AB		渡部 宏樹	日本語・日本文学類での専門教育に必要な高度な英語力を身につけるため、さまざまなトピックの英語をさまざまな形式(論文、ニュース記事、視聴覚資料、ゲーム)で多読する。なお本学の規定でTOEIC® IPテストを受検することが単位認定の要件となる。	日本語・日本文学類正規生(2019年度以降の入学者)に限る。2クラス対象。オンライン(オンデマンド型)

専門基礎科目(実践力養成)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考	
AE55A12	日本語教育学特別演習I		2	1.0	1-4				過去の日本語教育能力検定試験を参考にして、日本語教育に関する実践的な知識を身につけることを目指す。	2022年度開講せず。実務経験教員。対面履修登録者が多い場合、人数制限を行う場合もある。	
AE55A22	日本語教育学特別演習II		2	1.0	1-4	春C	火3,4	2G205	君村 千尋	過去の日本語教育能力検定試験を参考にして、日本語教育に関する実践的な知識を身につけることを目指す。	実務経験教員。対面履修登録者が多い場合、人数制限を行う場合もある。
AE55A32	日本語教育学特別演習III		2	1.0	1-4				過去の日本語教育能力検定試験を参考にして、日本語教育に関する実践的な知識を身につけることを目指す。	2022年度開講せず。実務経験教員履修登録者が多い場合、人数制限を行う場合もある。	
AE55A42	日本語教育学特別演習IV		2	1.0	1-4				過去の日本語教育能力検定試験を参考にして、日本語教育に関する実践的な知識を身につけることを目指す。	2022年度開講せず。実務経験教員履修登録者が多い場合、人数制限を行う場合もある。	
AE55B13	海外語学研修I		3	2.0	1-4	通年			海外で実施される語学研修に参加し、外国語運用能力と異文化適応能力を育成する。ただし、対象となる語学研修は、学類で定める所定の基準を満たすものとする。	日本語・日本文学類正規生に限る。履修にあたっては担当教員との相談を要する。	

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
AE55B23	海外語学研修II	3	2.0	1-4	通年	応談		日本語・日本文化学類長	海外で実施される語学研修に参加し、外国語運用能力と異文化適応能力を育成する。ただし、対象となる語学研修は、学類で定める所定の基準を満たすもののみとする。	日本語・日本文化学類正規生に限る。履修にあたっては担当教員との相談を要する。
AE55B33	海外語学研修III	3	3.0	1-4	通年	応談		日本語・日本文化学類長	海外で実施される語学研修に参加し、外国語運用能力と異文化適応能力を育成する。ただし、対象となる語学研修は、学類で定める所定の基準を満たすもののみとする。	日本語・日本文化学類正規生に限る。履修にあたっては担当教員との相談を要する。
AE55B43	海外語学研修IV	3	3.0	1-4	通年	応談		日本語・日本文化学類長	海外で実施される語学研修に参加し、外国語運用能力と異文化適応能力を育成する。ただし、対象となる語学研修は、学類で定める所定の基準を満たすもののみとする。	日本語・日本文化学類正規生に限る。履修にあたっては担当教員との相談を要する。

専門基礎科目(学際)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
AE56A11	共生のための社会言語学	1	1.0	1	春A	木5,6		澤田 浩子	多文化社会において生じる「ことば」に関する課題を取り上げながら、社会言語学の基礎的知見を学ぶとともに、ステレオタイプやジェンダーの問題を通して共生社会のあり方を考える。	日本語・日本文化学類生は2019年度以降の入学者に限る。専門導入科目(事前登録対象)。オンライン(オンデマンド型)
AE56A21	共生のための日本語教育	1	1.0	1	秋AB	木6		松崎 寛, 神吉 宇一	外国人労働者受け入れが本格化する日本社会における外国人との共生に関して、日本語・コミュニケーションという観点から考える。また、外国人日本語学習者に対する「思い込み」について、言語学や第二言語習得研究の成果を元に再考し、日本語教育に関する理解を深める。	日本語・日本文化学類生は2019年度以降の入学者に限る。専門導入科目(事前登録対象)。その他の実施形態: オンライン(オンデマンド型・同時双方向型併用)
AE56A31	共生のための人類学	1	1.0	1	春BC	火1		鈴木 伸隆	文化の異なる人々との共生を考える上で、文化的多様性の尊重は重要である。この授業では、文化相対主義、ジェンダー、コミュニティ、エスニシティ、ネーション、アイデンティティ、オリエンタリズム、寛容さといった基本的な概念を人類学的視点から分析することで、未来に向けた共生のあり方を理解する。	日本語・日本文化学類生は2019年度以降の入学者に限る。専門導入科目(事前登録対象)。オンライン(オンデマンド型)
AE56A41	共生のための歴史学	1	1.0	1	春BC	金3		朴 宣美	近現代日本における多文化社会の形成と変遷について歴史学の視点から考察する。	日本語・日本文化学類生は2019年度以降の入学者に限る。専門導入科目(事前登録対象)。オンライン(オンデマンド型)

専門科目(日本語)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
AE13A11	日本語の音声・音韻	1	1.0	2	秋AB	月1	2B507, 2B508	松崎 寛	現代日本語の音声的特徴について概観する。具体的には、話し言葉の語形、リズム、アクセント、イントネーション、子音、母音などについて観察・分析する基礎的能力を養う。	2018年度以前の日本語・日本文化学類入学者はAE11に相当。その他の実施形態: 対面・オンライン(オンデマンド型)併用
AE13A12	日本語の音声・音韻演習	2	1.0	3-4	春AB	月1	2G305	松崎 寛	「日本語の音声・音韻」で得られた知見を発展させ、力行鼻音、オノマトペ、外来語の表記、アクセントの機能、プロソディ等について考察する。	2018年度以前の日本語・日本文化学類入学者はAE11に相当。対面
AE13A21	日本語の文法I	1	1.0	2	春AB	木6		沼田 善子	文の単位を中心とした文法を考える。格、修飾、ヴォイス等の問題を取り上げ、日本語の文を文法的に観察し、分析する基礎的能力を養う。	2018年度以前の日本語・日本文化学類入学者はAE11に相当。その他の実施形態: 授業はオンライン(同時双方向型)で実施し、試験は対面で実施
AE13A31	日本語の文法II	1	1.0	2	秋AB	木6		沼田 善子	文の単位を中心とした文法を考える。テンス・アスペクト、授受表現、モダリティ、とりたて、語順等の問題を取り上げ、日本語の文を文法的に観察し、分析する基礎的能力を養う。	2018年度以前の日本語・日本文化学類入学者はAE11に相当。その他の実施形態: 授業はオンライン(同時双方向型)で実施し、試験は対面で実施
AE13A32	日本語の文法演習I	2	1.0	2	秋AB	金2	2G407	沼田 善子	日本語の文法において重要なトピックスの幾つかを取り上げ、これらについて実際に言語資料を調査・収集し、分析を行う。	2018年度以前の日本語・日本文化学類入学者はAE11に相当。対面
AE13A41	日本語の文法III	1	1.0	3-4	春AB	火4		石田 尊	現代日本語の文の階層性に関して、特に、語順・助動詞・助詞の出現(承接)順序、従属節の問題を中心に論じていく。基本的に講義形式で行うが、受講者には現象の観察や整理・記述の作業とその報告を適宜求める。	2018年度以前の日本語・日本文化学類入学者はAE11に相当。オンライン(同時双方向型)
AE13A51	日本語の文法IV	1	1.0	3-4	秋AB	火4		石田 尊	現代日本語の格および他動性の問題を取り上げる。名詞句が文中で担う諸機能や、動詞の意味的・文法的なタイプの検討を通して、文の構造に関する理解を深める。基本的に講義形式で行うが、受講者には現象の観察や整理・記述の作業とその報告を適宜求める。	2018年度以前の日本語・日本文化学類入学者はAE11に相当。オンライン(同時双方向型)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
AE13A52	日本語の文法演習II	2	1.0	3・4	春AB	金3		石田 尊	現代日本語文法に関する数本の論文を通読し、疑問点・質問等を取りまとめる作業（学期前半）と、それらのうち最も興味を持った論文について、読解と評価の作業を行う（学期後半）という2つのパートからなる演習である。そうした作業を通して各テーマの研究状況を知るとともに、文法研究のなされ方についての理解を深める。	2018年度以前の日本語・日本文学類入学者はAE11に相当。その他の実施形態第6回、第7回のみオンライン（同時双方向型）、それ以外はオンライン（オンデマンド型）の予定。
AE13A61	日本語の語彙	1	1.0	2	春AB	金3		杉本 武	日本語の語彙の意味的側面と文法的側面、それに基づく語彙の体系について理解を深める。	2018年度以前の日本語・日本文学類入学者はAE11に相当。オンライン（同時双方向型）
AE13A62	日本語の語彙演習	2	1.0	2	秋AB	金3		杉本 武	動詞を中心に様々な側面からの語彙の分析に関する文献を読み、その分析方法を検討することによって、語彙分析の方法を学ぶ。	2018年度以前の日本語・日本文学類入学者はAE11に相当。オンライン（同時双方向型）
AE13A71	日本語コーパス分析	1	1.0	2	秋AB	火2		杉本 武	日本語研究においてコーパスがどのように位置づけられ、どのように用いることができるのか、研究事例をもとに考える。	2018年度以前の日本語・日本文学類入学者はAE11に相当。オンライン（同時双方向型）
AE13A72	日本語コーパス分析演習	2	1.0	3・4	春AB	火5		杉本 武	コロケーションや語彙など、具体的なトピックに基づき、コーパスを用いて用例を収集し、分析を行う	2018年度以前の日本語・日本文学類入学者はAE11に相当。オンライン（同時双方向型）
AE13A81	日本語の談話	1	1.0	2	春AB	月6	2B507, 2B508	澤田 浩子	談話分析に関する知見を学び、日本語のコミュニケーションにおける産出と理解の両面について理解を深める。	2018年度以前の日本語・日本文学類入学者はAE11に相当。対面
AE13A82	日本語の談話演習	2	1.0	2	秋AB	月6	2B208	澤田 浩子	談話分析に関する知見をもとに、日本語のコミュニケーションを対象にデータを収集し、分析する力を養う。	2018年度以前の日本語・日本文学類入学者はAE11に相当。対面
AE13A91	日本語の語用論	1	1.0	2	春AB	火4		小野 正樹	語用論の観点から注目すべき言語現象を、慣習的な日本語の用例を用いて解説し、語用論の課題に対して、コミュニケーション理論の側からのアプローチを試みる。コミュニケーションの諸理論の概説を通して、発話の目的とは何かを解き明かしていく。	2018年度以前の日本語・日本文学類入学者はAE11に相当。オンライン（オンデマンド型）
AE13A92	日本語の語用論演習	2	1.0	2	秋AB	火4		小野 正樹	日本語を中心として、発話機能の観点から、どのような発話機能が必要として、日本語の教科書ではどのように扱われているかを見ながら、我々は、日常的にこうした発話を行う場合に、どのような点に留意する必要があるかを、コーパスや調査に基づき、実証的に考える。	2018年度以前の日本語・日本文学類入学者はAE11に相当。オンライン（同時双方向型） 「日本語の語用論」を履修していることが望ましい。
AE13B11	日本語音韻史	1	1.0	2	春AB	月5		石田 尊	日本語音韻体系の歴史的变化の様子を検討していく。上代日本語から現代日本語に至る流れの中で、日本語の音韻体系にどのようなことが起こったのかを、具体的な資料などを確認しながら考察する。	2018年度以前の日本語・日本文学類入学者はAE11に相当。オンライン（オンデマンド型）
AE13B21	日本語文法史	1	1.0	2	秋AB	月5		石田 尊	日本語文法体系の歴史的变化の様子を検討していく。上代日本語から現代日本語に至る流れの中で、日本語の文法体系にどのようなことが起こったのかを、具体的な資料などを確認しながら考察する。	2018年度以前の日本語・日本文学類入学者はAE11に相当。オンライン（オンデマンド型）
AE13B31	日本語方言論	1	1.0	3・4	秋AB	金3		石田 尊	これまでの日本語方言研究においてどのような調査がなされ、明らかにされてきたのかを概観しつつ、特に方言文法の問題を中心に考察を行っていく。	2018年度以前の日本語・日本文学類入学者はAE11に相当。オンライン（オンデマンド型）
AE13B41	日本語動態論	1	1.0	3・4	春AB	月2	2B411	谷口 孝介, 澤田 浩子	古代から近代において、おもに中日の言語接触によって生じる種々相について議論を行う。	2018年度以前の日本語・日本文学類入学者はAE11に相当。対面
AE13B51	世界の言語と日本語	1	1.0	3・4	春AB	金6		澤田 浩子	言語類型論、対照言語学に関する基礎的なトピックを扱い、他言語を通じて日本語を観察・分析する力を養う。	2018年度以前の日本語・日本文学類入学者はAE11に相当。2023年度以降開講。オンライン（オンデマンド型）
AE13B61	言語研究の方法	1	1.0	2					日本語を出発点として、他言語との比較をまじえながら、どうしたら人間の言語知識に体系的にアプローチできるかを理論的な観点から考える。	2018年度以前の日本語・日本文学類入学者はAE11に相当。2022年度開講せず。
AE13B62	言語研究の方法演習	2	1.0	3・4					言語構造の普遍のおよび個別的側面について理論的に考えるとともに、言語構造に関する議論を具体的なデータからどのように相対化するかを学ぶ。	2018年度以前の日本語・日本文学類入学者はAE11に相当。2022年度開講せず。
AE13B71	言語と文化I	1	1.0	2	春AB	木1		金 仁和	文化的な影響が見られる言語表現について考察する。具体的に、積極的/消極的、絶対的/相対的、開放的/閉鎖的などの文化的特徴が言語表現の方向性（上から下/下から上、左から右/右から左、内から外/外から内、全体から部分/部分から全体、原因から結果/結果から原因、動きから停止/停止から動きなど）にどう現れるのかを調べる。	2018年度以前の日本語・日本文学類入学者はAE11に相当。オンライン（オンデマンド型）

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
AE13B72	言語と文化演習I	2	1.0	2	秋AB	木1	2B208	金 仁和	広告言語、放送(ジャンル別)言語の特徴・機能を調査する。	2018年度以前の日本語・日本文学類入学者はAE111に相当。対面
AE13B81	言語と文化II	1	1.0	3・4	春AB	木4		金 仁和	辞書での多義語を対象として、意味派生の方向を分析する。分析結果を他言語と比較し、個別言語の特徴を明らかにする。なお、重義の語彙や表現の曖昧さを解決する方法を考える。	2018年度以前の日本語・日本文学類入学者はAE111に相当。オンライン(オンデマンド型)
AE13B82	言語と文化演習II	2	1.0	3・4	秋AB	木4	2G205	金 仁和	語彙の目的別分類法、分類・提示基準について調査し、分類を実践する。特に、語種別(例えばカタカナ語と非カタカナ語)の使用目的・効果などについて考察する。	2018年度以前の日本語・日本文学類入学者はAE111に相当。対面
AE13B91	言語と論理	1	1.0	3・4	春AB	火6	2G305	杉本 武	言語の形式化の基礎となる集合および命題論理、述語論理、様相論理などの論理を学び、これらと言語との関わりについて考察する。	2018年度以前の日本語・日本文学類入学者はAE111に相当。対面
AE13C11	コーパス言語学	1	1.0	2	春AB	木3		杉本 武	コーパスとはどのようなものであるのか、その特徴を学び、コーパスを言語研究に利用するメリットとデメリットについて考える。	2018年度以前の日本語・日本文学類入学者はAE111に相当。オンライン(同時双方向型)日本語・日本文学類正規生に限る。
AE13C13	コーパス言語学実習	3	1.0	2	秋AB	木3, 応談		杉本 武	コーパスの利用法について学ぶ。検索エンジンやコーパス検索システムなどの利用法、コーパスの検索に有効な正規表現の書法を実習する。	2018年度以前の日本語・日本文学類入学者はAE111に相当。オンライン(同時双方向型)日本語・日本文学類正規生に限る。

専門科目(多文化共生・日本語教育)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
AE13E11	日本語教育文法論	1	1.0	2 - 4	秋C	集中	2H101	澤田 浩子	日本語教育におけるコースデザインやシラバスの組み立て、教材や教案の作成に必要な日本語文法の知識を身につける。	2018年度以前の日本語・日本文学類入学者はAE111に相当。1/21, 1/22 対面
AE13E21	日本語技能指導論	1	1.0	3・4	秋AB	月5		松崎 寛	「話す」「聞く」「読む」「書く」の四技能の指導に関して、日本語教育の理論および実践の両面から理解を深める。	2018年度以前の日本語・日本文学類入学者はAE111に相当。オンライン(オンデマンド型)
AE13E31	第二言語習得論	1	1.0	3・4	春AB	月5		松崎 寛	第二言語習得研究分野における基礎的なトピックをとりあげ、日本語教育への応用について考える。	2018年度以前の日本語・日本文学類入学者はAE111に相当。オンライン(オンデマンド型)
AE13E41	外国人児童生徒教育論	1	1.0	2 - 4	夏季休業中	集中		君村 千尋	日本における外国人児童生徒教育をめぐる諸問題について、異文化接触、第二言語習得、日本語教育学、学校教育、地域社会での実践等、多角的な視野から取り上げる。本講義を受講することで受講生は、将来どのような分野に進んでも、外国人児童生徒教育に関わる支援のリーダーシップを取れるような考え方を身につけることができる。	2018年度以前の日本語・日本文学類入学者はAE111に相当。9/2, 9/9 その他の実施形態 オンライン(オンデマンド型・同時双方向型併用)。受講生数次第で履修を制限することがある。
AE13E51	異文化間心理学	1	1.0	2 - 4	夏季休業中	集中		田中 共子	異文化間心理学の着想と知見を紹介し、その教育応用について講義する。AUC-GS学習モデルを用いた心理教育的セッションを体験的に理解しながら、教材作成に取り入れる方法を考える。実証研究の論文を読み、後続研究への展開を考える。	2018年度以前の日本語・日本文学類入学者はAE121に相当。9/26, 9/27 オンライン(同時双方向型)60名を目途に人数制限を行う。
AE13E61	日本語教育心理学	1	1.0	3・4	春AB	金5		福田 倫子	日本語を含む言語学習および教育に関わる心理(認知面・情意面)の基本的な概念を学ぶ。自身の言語学習を振り返りつつ、理論と経験を結びつけながら理解する。言語の学習や教育での応用についても考える。	2018年度以前の日本語・日本文学類入学者はAE111に相当。オンライン(オンデマンド型)
AE13E62	日本語教育心理学演習	2	1.0	3・4	秋AB	金5		福田 倫子	日本語教育における心理学的研究の考え方や手法を学び、実際にデータをとって分析・考察を行う。その際、研究は小グループで行う。	2018年度以前の日本語・日本文学類入学者はAE111に相当。オンライン(同時双方向型)受講生数次第で履修を制限することがある。
AE13E71	海外の日本語教育と日本学	1	1.0	3・4	春AB	火3		小野 正樹	日本語教育を、自国文化普及政策のソフトパワーとして捉え、日本語教育政策について、現状の課題から政策までを講義する。	2018年度以前の日本語・日本文学類入学者はAE111に相当。オンライン(オンデマンド型)
AE13E72	海外の日本語教育と日本学演習	2	1.0	3・4	秋AB	火3		小野 正樹	日本語教育を、自国文化普及政策のソフトパワーとして捉え、日本語政策について、現状の課題から政策までの課題を各自が設定した課題を参加者で議論し、理解を深める。	2018年度以前の日本語・日本文学類入学者はAE111に相当。オンライン(同時双方向型)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
AE13E81	日本文化入門	1	1.0	2	秋AB	火6		鈴木 伸隆	This class is to provide students with basic ideas and knowledge to understand the historical development of Japanese culture. It will particularly examine how Japan has created its unique religious tradition and practice through accepting Chinese influences.	2018年度以前の日本語・日本文学類入学者はAE12に相当。This course is taught in English. 英語で授業。JTP。科目：オンライン(オンデマンド型)
AE13E91	多文化の中の日本	1	1.0	3・4	春AB	木3	2H201	鈴木 伸隆	日本に生起する多様な問題を多文化状況という文脈に位置づけ、理論的、実践的な視点から分析し、その重層的な意味を理解する。	2018年度以前の日本語・日本文学類入学者はAE12に相当。対面
AE13E92	多文化の中の日本演習	2	1.0	3・4	秋AB	木3		鈴木 伸隆	『多文化主義とは何か』(アンドレア・センブリニ著、文庫クセジュ、白水社刊)を講読し、理念としての多文化主義を学ぶ。	2018年度以前の日本語・日本文学類入学者はAE12に相当。オンライン(同時双方向型)
AE13F11	ICTと言語教育	1	1.0	2	春AB	月2		石田 尊	ICTを活用して言語教育を行う際に知っておくべき事項のうち、授業や教材の設計とインストラクションの方法、著作権法への対応などコンプライアンスの問題、そしてICTを活用した教育の実践例としてのeラーニングや遠隔教育の実情の3テーマに関する講義を行う。	2018年度以前の日本語・日本文学類入学者はAE11に相当。2023年度以降閉講。実務経験教員。オンライン(オンデマンド型)
AE13F12	ICTと言語教育演習	2	1.0	2	秋AB	月2		石田 尊	ICTを活用して言語教育を行うには、音声や画像(静止画・動画)を適切に取り扱い教材化する実践的なスキルが必要であり、eラーニングや遠隔教育を行うには学習管理システム(LMS)に教材を組み込んで受講者に提供していく必要がある。この演習では、言語教育のためのオンライン教材を試作する作業を通して、そうした各種スキルの向上を目指す。	2018年度以前の日本語・日本文学類入学者はAE11に相当。2023年度以降閉講。実務経験教員。その他の実施形態 サテライト室が利用可能であれば対面で実施、利用可能でない場合にはオンライン(オンデマンド型)で実施する。

専門科目(日本文化)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
AE13G11	日本の政治と社会	1	1.0	3・4	春AB	水3	共同利用棟 A101	中野目 徹	明治~昭和期の政治と社会について論じる。三宅雪嶺を中心に政治とジャーナリズムの関係を検討する。	2018年度以前の日本語・日本文学類入学者はAE12に相当。その他の実施形態 対面を基本としその様子を同時配信する。
AE13G21	東洋の歴史と文化	1	1.0	2	秋AB	水1		朴 宣美	現代韓国の歴史と文化を考察する。南北分担や民主化運動の歴史や人々の意識などを取り上げる	2018年度以前の日本語・日本文学類入学者はAE12に相当。オンライン(オンデマンド型)
AE13G31	近代日本の文化交流	1	1.0	3・4	春AB	木2		朴 宣美	社会文化史、ジェンダー史の視点から、「近代日本」における人々の移動・交流・変化する意識について考察する。	2018年度以前の日本語・日本文学類入学者はAE12に相当。オンライン(オンデマンド型)
AE13G32	近代日本の文化交流演習	2	1.0	3・4	秋AB	木2		朴 宣美	近現代日本における戦争観、歴史教育問題をテーマにしてテキスト批判トレーニングを行う。	2018年度以前の日本語・日本文学類入学者はAE12に相当。オンライン(同時双方向型)
AE13G41	日本の宗教と芸能	1	1.0	3・4	秋AB	木5	2B208	山澤 学	日本近世~近現代における宗教・芸能・社会について、具体的な事例を取り上げながら学修する。	2018年度以前の日本語・日本文学類入学者はAE12に相当。対面
AE13G51	日本文学の歴史	1	1.0	2	秋AB	木5		谷口 孝介	日本文学の歴史を考えるさいの基層となる、古代日本の文学表現について概観する。	2018年度以前の日本語・日本文学類入学者はAE12に相当。オンライン(オンデマンド型)
AE13G61	日本文学と自然	1	1.0	2	秋AB	金1		江口 真規	日本文学と「自然」との関わりについて、エコリテシズムの視点から、主に1960年代以降の公害問題を扱った文学作品(石牟礼道子、有吉佐和子など)の分析を通して学ぶ。	2018年度以前の日本語・日本文学類入学者はAE12に相当。オンライン(オンデマンド型)
AE13G72	日本文学とその特質演習I	2	1.0	2						2018年度以前の日本語・日本文学類入学者はAE12に相当。2022年度開講せず。
AE13G82	日本文学とその特質演習II	2	1.0	3・4						2018年度以前の日本語・日本文学類入学者はAE12に相当。2022年度開講せず。
AE13G91	国語科教育と文学	1	1.0	2 - 4					中等教育の国語科でよく扱われる文学教材を中心に、その内容や授業方法について考察する。教員免許を取得して実際に国語科教員になることを熱望する人材のみ受講していただきたい。	2018年度以前の日本語・日本文学類入学者はAE12に相当。日本語・日本文学類生に限る。西暦奇数年度開講。実務経験教員。対面
AE13G92	国語科教育と文学演習	2	1.0	2 - 4	秋AB	水3	2B207	石塚 修	中等教育の国語科でよく扱われる文学教材を中心に、その内容や授業方法について考察する。教員免許を取得して実際に国語科教員になることを熱望する人材のみ受講していただきたい。	2018年度以前の日本語・日本文学類入学者はAE12に相当。日本語・日本文学類生に限る。西暦偶数年度開講。実務経験教員。対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
AE13H11	中国文学と日本文学	1	1.0	2	春AB	月4		谷口 孝介	日本文学に大きな影響を与え続けた、中唐白居易『白氏文集』を概観し、いくつかの作品を講読する。	2018年度以前の日本語・日本文学類入学者はAE12に相当。オンライン(オンデマンド型)
AE13H12	中国文学と日本文学演習I	2	1.0	2	秋AB	月4		谷口 孝介	日本文学における中国文学の受容の実態を知るための入門として、平安時代文人の逸話集である林梅洞『史館茗話』(1668年刊)を精読する。	2018年度以前の日本語・日本文学類入学者はAE12に相当。オンライン(同時双方向型)
AE13H22	中国文学と日本文学演習II	2	1.0	3・4	秋AB	月2		谷口 孝介	東アジアのなかの日本文学の特徴を考えるための題材を取りあげて考察を行う。	2018年度以前の日本語・日本文学類入学者はAE12に相当。オンライン(同時双方向型) 日中双方の文学についてのあるていどの基本知識を前提とする。
AE13H43	日本文化研究実習I	3	1.0	2-4	春AB	木5,6	2C109	谷口 孝介	日本の伝統文化を代表する「茶の湯」について、その歴史と実際を学ぶ。茶道の未経験者に限る。実習のための扇子・帛紗(5,000円程度)のほか、茶・菓子代・茶会参加など別途6,000~8,000円程度の実費が必要となる。実習の都合上、受講生の人数調整をするので、初回に出席してエントリーを許可されない者には受講を認めない。実習をともなうので中途のみだりな欠席や放棄が予想される者は絶対に履修しないこと。茶の湯の作法は裏千家に則って行う。	2018年度以前の日本語・日本文学類入学者はAE12に相当。対面 日本語・日本文学類生に限る。実習科目のため備品の関係で人数制限をする。
AE13H53	日本文化研究実習II	3	1.0	3・4						2018年度以前の日本語・日本文学類入学者はAE12に相当。2022年度開講せず。
AE13H63	文化の伝流と複合実習	3	2.0	3・4	春C 夏季休業中	月3,4 集中	2G205	谷口 孝介	東アジア文化のなかで日本文化が展開・複合する様相を、実地見学(2泊3日ていど)および博物館見学などを行いつつ考察する。	2018年度以前の日本語・日本文学類入学者はAE12に相当。対面 実地見学などに要する費用は各自実費負担。15名ていどを目途に人数制限を行う。
AE13H91	世界文学と日本文学	1	1.0	2	春AB	金1		江口 真規	アニマル・スタディーズの理論を概観したうえで、クツェーヤカフカ、宮沢賢治などの文学作品を講読し、文学・文化を人と動物の関係から考察する。	2018年度以前の日本語・日本文学類入学者はAE12に相当。オンライン(オンデマンド型)
AE13H92	世界文学と日本文学演習I	2	1.0	2	秋AB	水2		江口 真規	日本語で書かれた短編小説の精読を通して、文学作品の分析と研究方法を演習形式で学ぶ。特に作品に描かれた動物の表象に着目し、海外文学との比較から考察を行う。	2018年度以前の日本語・日本文学類入学者はAE12に相当。オンライン(同時双方向型)
AE13J12	世界文学と日本文学演習II	2	1.0	3・4	春AB	金4		江口 真規	具体的な作品の分析を通して、文学・文化の研究手法と文学理論(ジェンダー批評やポストコロニアル批評等)の歴史を学ぶ。文学理論に関するテキストの講読と発表を行い、文学理論がどのような社会的背景と結びついて発展してきたのかについて知識を深める。文学・文化を研究するうえでどのようなアプローチがあるのかを知り、自らの研究方法の選択に生かしていくとともに、文化事象を分析するための考察力を身に付ける。	2018年度以前の日本語・日本文学類入学者はAE12に相当。オンライン(同時双方向型)
AE13J21	表象文化論	1	1.0	2	春AB	金5		渡部 宏樹	文化的表象を分析する際の基礎的な概念や方法論を学ぶ。表象とは何か、なぜ表象が問題なのか、表象を分析するときどのような方法があるか、芸術研究とはどう異なるのか、といった点を講義中心に解説する。	2018年度以前の日本語・日本文学類入学者はAE12に相当。オンライン(オンデマンド型)
AE13J22	表象文化論演習	2	1.0	3・4	秋AB	金4		渡部 宏樹	演習形式で日本や日本と関係する文化的表象を具体的に分析する。基本的には視覚的表象を中心に取り扱う。	2018年度以前の日本語・日本文学類入学者はAE12に相当。英語で授業。オンライン(同時双方向型)
AE13M11	日本文化特講I	1	1.0	2-4					近代日本は西洋で発達した近代物質文明を大幅に取り入れ、それによる都市化・グローバル化に関しては、すでに世界の最先端を走っている。近代物質文明は国民生活を物質的には豊かにしたが、自然との断絶や共同体の崩壊で、精神的な幸福を与えていない。本講義は、江戸時代までの日本文化・文明と近代物質文明を比較しつつ、両者を活かした新日本文明のありかたを模索する。	2018年度以前の日本語・日本文学類入学者はAE12に相当。2022年度開講せず。その他の実施形態

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
AE13M21	日本文化特講II		1.0	2-4	秋B	集中		布瀬 雅義	文化が特定の社会集団に特徴的な価値観の表われだと考えれば、その社会集団で称賛されている人物の生き方を探るのも、文化研究の有効な手段である。本科目はこの視点から、国際的に称賛されている日本人を取り上げ、受講者数名によるグループ研究によって分析する。	2018年度以前の日本語・日本文学類入学者はAE12に相当。11/12、12/3-12/4その他の実施形態 初日：オンライン(同時双方向型)、第2・3日目：対面

専門科目(国際・協働)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
AE14A12	日本語・日本文化共同研究I	2	1.0	2-4	春AB	月6		今田 水穂	留学生と学類生が共同で、指示語・接続語・助詞などの機能表現をテーマとし、日本語を母語としない学習者に説明することを想定して、体系全体の説明、他言語との比較、特定の表現の用法や使い分けなどを調査・分析し、発表を行う。	2018年度以前の日本語・日本文学類入学者はAE11に相当。G科目。オンライン(オンデマンド型)。その他の実施形態 オンデマンド講義+同時双方向のグループワーク
AE14A22	日本語・日本文化共同研究II	2	1.0	2-4	秋AB	月6		今田 水穂	留学生と学類生が共同で、態・相・時制・様相・待遇表現のいずれかの範疇に属する言語表現(特に助動詞などの文末表現)をテーマとし、日本語を母語としない学習者に説明することを想定して、体系全体の説明、他言語との比較、特定の表現の用法や使い分けなどを調査・分析し、発表を行う。	2018年度以前の日本語・日本文学類入学者はAE11に相当。G科目。オンライン(オンデマンド型)。その他の実施形態 オンデマンド講義+同時双方向のグループワーク
AE14A32	日本語・日本文化共同研究III	2	1.0	2-4	春B 春C	火6 火6 集中	2G205	江口 真規	国重要無形民俗文化財である秋田県の芋燈まつりに参加し、留学生と日本人学生による共同活動・調査を通して、日本の伝統行事と地域社会の関わりについて考察を深める。	2018年度以前の日本語・日本文学類入学者はAE12に相当。G科目。その他の実施形態 対面とオンライン(同時双方向型)の併用。まつりの開催予定によっては実施方法を変更する可能性あり。詳細については4月の段階でアナウンスを行う。人数制限あり。
AE14A42	日本語・日本文化共同研究IV	2	1.0	2-4	秋AB	集中		加藤 晴美	日本の地域社会を理解するうえで基本となるマチとムラについて、フィールドワーク(巡検)を行う。2回実施する巡検では、教員が現地を案内・解説するとともに、留学生と日本人学生からなるグループが事前に調査した内容を発表し、歴史・文化的な景観やそこに展開する生活文化の特色について考察する。	2018年度以前の日本語・日本文学類入学者はAE12に相当。交通費・見学入館料・食事代などは自己負担とする。履修希望者多数の場合は人数制限を行う(25名程度)。事前学習、現地見学合わせて土日に3日間の予定で開講する。日程は後日揭示。 G科目。対面
AE14B13	言語教育対話実習I	3	1.0	2-4	春AB	月4 応談	2G305	松崎 寛	日本人および留学生による未習外国語の模擬授業および意見交換を通して、指導技術の向上を目指すとともに、学習者の立場を理解し、学習がどのようにして起こるのかに対する理解を深める。	2018年度以前の日本語・日本文学類入学者はAE11に相当。G科目。対面 受講生数次第で履修を制限することがある。
AE14B23	言語教育対話実習II	3	1.0	2-4	秋AB	月4 応談	2G305	松崎 寛	日本人および留学生による未習外国語の模擬授業および意見交換を通して、指導技術の向上を目指すとともに、学習者の立場を理解し、学習がどのようにして起こるのかに対する理解を深める。	2018年度以前の日本語・日本文学類入学者はAE11に相当。G科目。対面 受講生数次第で履修を制限することがある。
AE14C13	日本語教育実習	3	3.0	2-4	秋ABC	金2,3		松崎 寛	カリキュラム作成、教案・教材教具作成、模擬実習、教壇に立つための本実習等を通して、日本語教育の方法論と技術を学ぶ。	2018年度以前の日本語・日本文学類入学者はAE11に相当。実務経験教員。オンライン(同時双方向型)「言語教育対話実習」を履修していることが望ましい。受講生数次第で履修を制限することがある。
AE14C23	日本語教育国際研修I	3	3.0	2-4	秋ABC 春季休業中	応談 集中		松崎 寛	マレーシアの中等教育機関及びマレーシア工科大学にて、3週間、日本語を教える。	2018年度以前の日本語・日本文学類入学者はAE11に相当。事前説明会を実施するので履修希望者は必ず出席すること。人数制限あり。インターンシップ科目。 CDP。実務経験教員。オンライン(同時双方向型)。対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
AE14C33	日本語教育国際研修II	3	3.0	2-4					マレーシアの中等教育機関及びマレーシア工科大学にて、3週間、日本語を教える。	2018年度以前の日本語・日本文学類入学者はAE11Iに相当。事前に説明会を実施するので履修希望者は必ず出席すること。人数制限あり。インターンシップ科目。 2022年度開講せず。 CDP. 実務経験教員
AE14C43	日本語教育国際研修III	3	3.0	2-4					マレーシアの中等教育機関及びマレーシア工科大学にて、3週間、日本語を教える。	2018年度以前の日本語・日本文学類入学者はAE11Iに相当。事前に説明会を実施するので履修希望者は必ず出席すること。人数制限あり。インターンシップ科目。 2022年度開講せず。 CDP. 実務経験教員
AE14E13	日本語・日本文化国際研修I	3	3.0	2-4					スロベニア・リュブリャナ大学で2週間の異文化理解プログラムを行う。(1)日本の言語・文化・社会に関する研究発表を行い、現地の大学生と学術交流を行う。(2)民族学博物館、国立美術館、現地小中学校等の見学。(3)スロベニア語の基本的な特徴を理解し、日常会話を習得する。	2018年度以前の日本語・日本文学類入学者はAE12Iに相当。西暦奇数年開講。西暦偶数年度開講。2022年度開講せず。 G科目. 実務経験教員. 対面
AE14E23	日本語・日本文化国際研修II	3	3.0	2-4	秋C 春季休業中	水5 水6 集中	2G305	澤田 浩子	スロベニア・リュブリャナ大学で2週間の異文化理解プログラムを行う。(1)日本の言語・文化・社会に関する研究発表を行い、現地の大学生と学術交流を行う。(2)民族学博物館、国立美術館、現地小中学校等の見学。(3)スロベニア語の基本的な特徴を理解し、日常会話を習得する。	2018年度以前の日本語・日本文学類入学者はAE12Iに相当。事前に説明会を実施するので履修希望者は必ず出席すること。人数制限あり。 西暦偶数年度開講。 G科目. 実務経験教員. 対面
AE14E33	日本語・日本文化国際研修III	3	3.0	2-4	春B秋A	集中		朴 宣美	日韓の歴史問題への理解を深めるため韓国で実習を行う。	2018年度以前の日本語・日本文学類入学者はAE12Iに相当。人数制限あり。実施未定。詳細が決まり次第、後日掲載。事前に説明会を実施するので履修希望者は必ず出席すること。 G科目. オンライン(同時双方向型). 対面
AE14F13	日本語教育企業研修	3	3.0	2-4	夏季休業中 秋ABC	集中 応談		松崎 寛	日本語教材出版社社員の指導のもと、リモートワークを前提とした教材作成・編集等に関する実践的な研修を行う。	2018年度以前の日本語・日本文学類入学者はAE11Iに相当。事前に説明会を実施するので履修希望者は必ず出席すること。人数制限あり。インターンシップ科目。 CDP. 実務経験教員. その他の実施形態 対面(企業訪問)・オンライン(同時双方向型)併用
AE14F23	日本語教育インターンシップI	3	3.0	2-4	通年	応談		松崎 寛	海外の協定校での日本語を教えた経験に対して、一定の条件・水準を満たしていると判断した場合に単位を認定する。条件としては、留学前の履修申請と受理を経た上で、留学中の定期的報告、留学後の報告とレポート、現地協定校の担当教員からの評価の提出、などが求められる。	2018年度以前の日本語・日本文学類入学者はAE11Iに相当。履修にあたっては担当教員との相談を要する。インターンシップ科目。 CDP. 実務経験教員
AE14F33	日本語教育インターンシップII	3	3.0	2-4	通年	応談		松崎 寛	海外の協定校での日本語を教えた経験に対して、一定の条件・水準を満たしていると判断した場合に単位を認定する。条件としては、留学前の履修申請と受理を経た上で、留学中の定期的報告、留学後の報告とレポート、現地協定校の担当教員からの評価の提出、などが求められる。	2018年度以前の日本語・日本文学類入学者はAE11Iに相当。履修にあたっては担当教員との相談を要する。インターンシップ科目。 CDP. 実務経験教員
AE14F43	国際・協働インターンシップI	3	3.0	2-4	通年	応談		澤田 浩子	国内外で行う多文化共生に関わる社会的活動(ボランティアや企業研修)に対して、インターンシップとして単位を付与する。	2018年度以前の日本語・日本文学類入学者はAE12Iに相当。履修にあたっては担当教員との相談を要する。インターンシップ科目。 CDP. 実務経験教員
AE14F53	国際・協働インターンシップII	3	3.0	2-4	通年	応談		澤田 浩子	国内外で行う多文化共生に関わる社会的活動(ボランティアや企業研修)に対して、インターンシップとして単位を付与する。	2018年度以前の日本語・日本文学類入学者はAE12Iに相当。履修にあたっては担当教員との相談を要する。インターンシップ科目。 CDP. 実務経験教員

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
AE14G13	日本語方言研究フィールド実習I	3	3.0	2-4					特定の地点でのフィールドワークを中心とした実習科目である。事前学習の期間に自ら調査する内容を検討し、事後学習の期間では調査結果の整理とプレゼンテーション等を行う。調査のテーマとしては、アクセントを含む音韻・音声および動詞や名詞などの語彙調査を中心とする。なお、COVID-19の影響により、授業予定が大幅に変更となる可能性がある。第1回にガイダンスを行うので参加すること。	2018年度以前の日本語・日本文学類入学者はAE111に相当。人数制限あり。西暦奇数年度開講。
AE14G23	日本語方言研究フィールド実習II	3	3.0	2-4	春AB秋AB 夏季休業中	金6 集中	2G205	石田 尊	特定の地点でのフィールドワークを中心とした実習科目である。春ABの期間に調査対象となる地域の言語的な状況を確認・検討し、また言語調査に必要な基本的な知識やスキルを学ぶ。夏季休業中には現地での実習を行う。秋ABの期間には、現地調査の結果の整理と報告の作成を行う。また併せて他の年度の調査結果との比較検討を行う。	2018年度以前の日本語・日本文学類入学者はAE111に相当。人数制限あり。西暦偶数年度開講。その他の実施形態 春ABはオンライン（オンデマンド型）、夏季集中は対面、秋ABはオンライン（同時双方向型）での開講を予定している。
AE14G33	日本語談話研究フィールド実習I	3	3.0	2-4					日本語における言語コミュニケーションについてフィールドワーク調査を行い、レポートを作成する。現地での滞在調査を通じて、言語と人間・文化・社会との関わりを学ぶ。	2018年度以前の日本語・日本文学類入学者はAE111に相当。西暦奇数年度開講。2022年度開講せず。対面
AE14G43	日本語談話研究フィールド実習II	3	3.0	2-4	春C 夏季休業中	月5,6 集中	2G205	澤田 浩子	日本語における言語コミュニケーションについてフィールドワーク調査を行い、レポートを作成する。現地での滞在調査を通じて、言語と人間・文化・社会との関わりを学ぶ。	2018年度以前の日本語・日本文学類入学者はAE111に相当。事前に説明会を実施するので履修希望者は必ず出席すること。人数制限あり。西暦偶数年度開講。対面
AE14G53	日本文化研究フィールド実習I	3	3.0	2-4					今日、日本の地域社会を取り巻く「まちづくり」という現象は、観光という大きな流れと不可分に結びついている。この実習ではまちづくりに焦点を当て、特に現地での聞き取りからデータ収集し、レポートをまとめるという一連の作業を通して、フィールド調査の基礎を実践的に学ぶ。	2018年度以前の日本語・日本文学類入学者はAE121に相当。人数制限あり。西暦奇数年度開講。対面
AE14G63	日本文化研究フィールド実習II	3	3.0	2-4	春C 夏季休業中	水5,6 集中	2G205	鈴木 伸隆	今日、日本の地域社会を取り巻く「まちづくり」という現象は、観光という大きな流れと不可分に結びついている。この実習ではまちづくりに焦点を当て、特に現地での聞き取りからデータ収集し、レポートをまとめるという一連の作業を通して、フィールド調査の基礎を実践的に学ぶ。	2018年度以前の日本語・日本文学類入学者はAE121に相当。5月初旬（予定）に説明会を実施するので履修希望者は必ず出席すること。人数制限あり。西暦偶数年度開講。対面
AE14H12	外国人児童生徒支援研究I	2	1.0	2-4	春C夏季 休業中	集中		澤田 浩子	茨城県の外国人児童生徒に対する日本語支援に関して、実践を念頭においた研究を行う。	2018年度以前の日本語・日本文学類入学者はAE111に相当。AE14H22の単位取得者は履修不可。実務経験教員。オンライン（同時双方向型）
AE14H22	外国人児童生徒支援研究II	2	1.0	1-3	通年	応談		澤田 浩子	茨城県の外国人児童生徒に対する日本語支援に関して、実践を念頭においた研究を行う。	2018年度以前の日本語・日本文学類入学者はAE111に相当。AE14H12の単位取得者は履修不可。実務経験教員。オンライン（同時双方向型）
AE14H23	外国人児童生徒支援実習I	3	3.0	2-4	通年	応談		澤田 浩子, 松崎 寛, 入山 美保	茨城県の外国人児童生徒に対する日本語支援に関して、インターネットを通じた日本語支援の実践を行う。	2018年度以前の日本語・日本文学類入学者はAE111に相当。原則として「外国人児童生徒支援研究」を受講していることを履修の条件とする。実務経験教員。オンライン（同時双方向型）
AE14H33	外国人児童生徒支援実習II	3	3.0	2-4	通年	応談		澤田 浩子, 松崎 寛, 入山 美保	茨城県の外国人児童生徒に対する日本語支援に関して、インターネットを通じた日本語支援の実践を行う。	2018年度以前の日本語・日本文学類入学者はAE111に相当。原則として「外国人児童生徒支援研究」を受講していることを履修の条件とする。実務経験教員。オンライン（同時双方向型）
AE14H52	外国人児童生徒支援プロジェクト研究	2	1.0	3-4	春A	集中		澤田 浩子	茨城県の外国人児童生徒に対する日本語支援のプロジェクトに参加しながら、プロジェクトの運営や地域との連携などコーディネーターとして活動するために、実践を念頭においた研究を行う。	2018年度以前の日本語・日本文学類入学者はAE111に相当。原則として「外国人児童生徒支援実習」を受講していることを履修の条件とする。実務経験教員。オンライン（同時双方向型）

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
AE14H63	外国人児童生徒支援プロジェクト実習I	3	3.0	3・4	通年	応談		澤田 浩子, 松崎 寛, 入山 美保	茨城県の外国人児童生徒に対する日本語支援のプロジェクトに参加しながら、プロジェクトの運営や地域との連携などコーディネーターとしての実践を行う。	2018年度以前の日本語・日本文学類入学者はAE111に相当。原則として「外国人児童生徒支援実習」「外国人児童生徒支援プロジェクト研究」を受講していることを履修の条件とする。実務経験教員。オンライン(同時双方向型)
AE14H73	外国人児童生徒支援プロジェクト実習II	3	3.0	3・4	通年	応談		澤田 浩子, 松崎 寛, 入山 美保	茨城県の外国人児童生徒に対する日本語支援のプロジェクトに参加しながら、プロジェクトの運営や地域との連携などコーディネーターとしての実践を行う。	2018年度以前の日本語・日本文学類入学者はAE111に相当。原則として「外国人児童生徒支援実習」「外国人児童生徒支援プロジェクト研究」を受講していることを履修の条件とする。実務経験教員。オンライン(同時双方向型)

専門科目 (Japan-Expertインターンシップ)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
AE18K13	Japan-ExpertインターンシップI	3	3.0	3・4					海外または国内で日本語教育実習を行う。カリキュラム作成、教案・教材教具作成、模擬実習、教壇に立つての本実習等を通して、日本語教育の方法論と技術を学ぶ。	Japan-Expert日本語教師養成コース学生に限る。インターンシップ科目。西暦偶数年度開講。2022年度開講せず。実務経験教員。「言語教育対話実習」を履修していることが望ましい。
AE18K23	Japan-ExpertインターンシップII	3	3.0	3・4					海外または国内で日本語教育実習を行う。カリキュラム作成、教案・教材教具作成、模擬実習、教壇に立つての本実習等を通して、日本語教育の方法論と技術を学ぶ。	Japan-Expert日本語教師養成コース学生に限る。インターンシップ科目。西暦奇数年度開講。実務経験教員。対面。「言語教育対話実習」を履修していることが望ましい。

卒業論文

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
AE10A12	総合演習導入I	2	1.0	2	秋C	随時		日本語・日本文学類関係教員	卒業論文作成にむけて問題発見のための指導を行う。	2019年度以降の入学者対象。
AE10A22	総合演習導入II	2	1.0	2	通年	随時		日本語・日本文学類関係教員	卒業論文作成にむけて問題発見のための指導を行う。	2019年度以降の入学者対象。AE10A12に相当。留学または休学した学生対象の科目であり、履修にあたっては相談を要する。
AE10B12	総合演習I-a	2	3.0	3	春AB	水6, 随時		今田 水穂, 金 仁 和, 杉本 武, 沼田 善子	卒業論文作成のための基礎力を養う。	2019年度以降の入学者対象。
AE10B22	総合演習I-b	2	3.0	3	春AB	水6, 随時		石田 尊, 入山 美保, 小野 正樹, 澤田 浩子, 松崎 寛	卒業論文作成のための基礎力を養う。	2019年度以降の入学者対象。
AE10B32	総合演習I-c	2	3.0	3	春AB	水6, 随時		江口 真規, 谷口 孝介, 渡部 宏樹	卒業論文作成のための基礎力を養う。	2019年度以降の入学者対象。
AE10B42	総合演習I-d	2	3.0	3	春AB	水6, 随時		鈴木 伸隆, 朴 宣美	卒業論文作成のための基礎力を養う。	2019年度以降の入学者対象。
AE10B92	総合演習III	2	3.0	3	秋AB	随時		日本語・日本文学類関係教員	卒業論文作成のための基礎力を養う。	2019年度以降の入学者対象。AE10B12/AE10B22/AE10B32/AE10B42に相当。留学または休学した学生対象の科目であり、履修にあたっては相談を要する。
AE10C12	総合演習II-a	2	3.0	3	秋AB	水6, 随時		今田 水穂, 金 仁 和, 杉本 武, 沼田 善子	卒業論文作成のための基礎力を養う。	2019年度以降の入学者対象。
AE10C22	総合演習II-b	2	3.0	3	秋AB	水6, 随時		石田 尊, 入山 美保, 小野 正樹, 澤田 浩子, 松崎 寛	卒業論文作成のための基礎力を養う。	2019年度以降の入学者対象。
AE10C32	総合演習II-c	2	3.0	3	秋AB	水6, 随時		江口 真規, 谷口 孝介, 渡部 宏樹	卒業論文作成のための基礎力を養う。	2019年度以降の入学者対象。
AE10C42	総合演習II-d	2	3.0	3	秋AB	水6, 随時		鈴木 伸隆, 朴 宣美	卒業論文作成のための基礎力を養う。	2019年度以降の入学者対象。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
AE10C92	総合演習IV	2	3.0	3	春AB	随時		日本語・日本文化学類関係教員	卒業論文作成のための基礎力を養う。	2019年度以降の入学対象。AE10C12/AE10C22/AE10C32/AE10C42に相当。留学または休学した学生対象の科目であり、履修にあたっては相談を要する。
AE10D12	卒業論文演習I	2	3.0	4	春AB	随時		日本語・日本文化学類関係教員	卒業論文作成のための指導を行う。	2019年度以降の入学対象。
AE10D22	卒業論文演習III	2	3.0	4	秋AB	随時		日本語・日本文化学類関係教員	卒業論文作成のための指導を行う。	2019年度以降の入学対象。AE10D12に相当。留学または休学した学生対象の科目であり、履修にあたっては相談を要する。
AE10E12	卒業論文演習II	2	3.0	4	秋AB	随時		日本語・日本文化学類関係教員	卒業論文作成のための指導を行う。	2019年度以降の入学対象。
AE10E22	卒業論文演習IV	2	3.0	4	春AB	随時		日本語・日本文化学類関係教員	卒業論文作成のための指導を行う。	2019年度以降の入学対象。AE10E12に相当。留学または休学した学生対象の科目であり、履修にあたっては相談を要する。
AE10O22	卒業論文演習II	2	1.0	4	春ABC	随時		日本語・日本文化学類関係教員	卒業論文作成のための指導を行う。	2018年度以前の入学対象。
AE10O32	卒業論文演習III	2	1.0	4	秋ABC	随時		日本語・日本文化学類関係教員	卒業論文作成のための指導を行う。	2018年度以前の入学対象。
AE10O52	卒業論文演習V	2	1.0	4	秋ABC	随時		日本語・日本文化学類関係教員	卒業論文作成のための指導を行う。	2018年度以前の入学対象。AE10O22に相当。留学または休学した学生対象の科目であり、履修にあたっては相談を要する。
AE10O62	卒業論文演習VI	2	1.0	4	春ABC	随時		日本語・日本文化学類関係教員	卒業論文作成のための指導を行う。	2018年度以前の入学対象。AE10O32に相当。留学または休学した学生対象の科目であり、履修にあたっては相談を要する。
AE10F18	卒業論文	8	6.0	4	秋ABC	随時		日本語・日本文化学類関係教員	卒業論文を作成する。	
AE10F28	卒業論文	8	6.0	4	春ABC	随時		日本語・日本文化学類関係教員	卒業論文を作成する。	留学または休学した学生対象の科目であり、履修にあたっては相談を要する。

日本語・日本文化研修留学生

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
AE81N13	日本語・日本文化実験実習	3	1.0	1	秋AC 秋B	随時 集中		朴 宣美, 渡部 宏 樹	学外での研修を通して日本文化に直接接する。研修前には事前学習を行い、研修後は各自のテーマでレポートを作成する。	日本語・日本文化研修留学生対象。対面
AE82N22	日本語・日本文化基礎研究	2	1.0	1	秋AB	随時		朴 宣美, 渡部 宏 樹	修了レポート作成のための予備指導を行う。	日本語・日本文化研修留学生対象。
AE82N32	日本語・日本文化特別研究	2	2.0	1	春AB	随時		今田 水穂, 朴 宣 美	修了レポート作成のための指導を行う。	日本語・日本文化研修留学生対象。
AE82N48	日本語・日本文化修了レポート	8	2.0	1	春ABC	随時		今田 水穂, 朴 宣 美	各自の研究テーマについて、各指導教員のもとで修了レポートを作成する。	日本語・日本文化研修留学生対象。